

国際シンポジウム 新しい都市の未来 -文化、生物多様性、風景の交流



これまで農村部では、人々は地域の気候、地形、生態系に根ざした知恵によって生態系サービスを享受しながら、里山里海のような重層的な自然環境を形成してきました。近年、生活様式の近代化、都市への人口流出、人口高齢化などにより、自然と人間を繋いでいた伝統的な文化が急速に失われつつあります。その一方で、観光資源、精神的豊かさなどを求め里山の環境を求める交流人口の拡大など、人の移動や経済活動と地域の自然と文化は、複雑に相互に影響を与え始めています。今回、東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)、ストックホルムレジリエンスセンター(SRC)とともに生物文化多様性の視点から金沢市周辺の中山間地の景観の移り変わりや金沢市街地の関係を考える国際会議を開催いたします。金沢、国内、および海外の様々な事例をもとに、シンポジウムの前日に金沢の生物文化多様性に触れた海外の専門家を交え、人の移動と生物文化多様性の関係から新しい都市の未来について話し合います。

日時: 2018年4月5日(木) 14:00~17:00 (13:30開場)

場所: 金沢歌劇座 2階 大集会室

入場無料

主催: 東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)
ストックホルムレジリエンスセンター(SRC)
国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング
ユニット(UNU-IAS OUIK)

後援: 金沢市

言語: 日英同時通訳

参加お申込みはこちらから ⇒ [:http://ouik.unu.edu/events/1583](http://ouik.unu.edu/events/1583)



プログラム（日英同時通訳）

14:00 - 14:10 主催者挨拶

東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構 教授
福士謙介

14:10 - 14:15 開会挨拶 金沢市環境局長

14:15 - 14:30 基調講演1

「自然や文化と調和した持続可能でレジリエントな社会を創る」
東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構 機構長・特任教授
武内和彦

14:30 - 14:45 基調講演2

「人の流れと持続可能な発展・平和のための生物文化的視点」
ストックホルムレジリエンスセンター 教授
トーマス・エルクインスト

14:45-15:00 基調講演3

「金沢を取り巻く生物文化多様性」
石川県立大学生物資源環境学部教授
柳井清治

15:00 - 15:20 休憩

15:20 - 16:50 事例発表とパネルディスカッション

モデレーター：渡辺綱男 (UNU-IAS OUIK所長)

パネリスト：

- ・中野真理子 (自然史資料館副館長)
- ・ファン・パストール・イヴァールス (UNU-IAS OUIK研究員)
- ・マリア・テンゴ (ストックホルムレジリエンスセンター 博士)
- ・ケース・ティドボール (コーネル大学 博士)
- ・ヘザー・マクミラン (米国林野局 博士)

17:00 閉会

